

## 『式 辞』

正門の桜が咲き誇る春爛漫のこのよき日に、歴史と伝統のある矢田中学校に入学して来られた新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。在校生をはじめ、教職員全員が皆さんの入学を心より歓迎します。今、皆さんの生き生きとした表情を見て、とても嬉しく思います。

まず初めに、ご来賓の皆様方にご挨拶を申しあげます。平素は本校の教育活動に深いご理解と多大なるご支援を賜りまして、誠にありがとうございます。また、本日ここに、第七四回入学式を挙行いたしましたところ、公私何かとご多用の中をご臨席賜り、重ねて心

より厚く御礼申しあげます。「ありがとうございます」  
ございます。」

さて、新入生の皆さん。いよいよ本日より  
中学校生活がスタートします。教科担任制や  
部活動、五月に予定されている一泊移住など、  
期待だけではなく、不安な気持ちもいっぱい  
のことと思います。しかし、これは誰もが経  
験することです。新しいことや未知のことに  
対する最初の気持ちであり、自然なことだと  
思います。一日も早く、中学校の生活に慣れ、  
たくさんの友達をつくり、楽しい学校生活を  
送ることができるようにしてほしいと思っ  
ます。そんな願いをこめて、入学にあたり次  
の二つのことを皆さんにお話ししたいと思  
います。

まず一つは、皆さん一人一人は、かけがえのない命と尊厳の持ち主であるということ。言い換えれば何人もそれを傷つけることは許されない！ということです。「いじめ」や「差別」を持って、人の心や体を傷つけることは決して許されない！ということ理解してください。足を踏まれたものの痛みは、踏んだものにはわかりません。踏まないように気を付けるには、自分がされて嫌なことを人にしないということです。すなわち相手の気持ちを思いやる心を持つことなのです。

二つ目は、自分には大きな可能性があると思えることです。皆さんは、三月一九日にそれぞれの小学校で、自らの決意を述べ立派に卒業してきました。すでに義務教育課程九年

間の三分の二を終え、大きな力を備えています。その上に立って、中学校三年間を、しっかりととした目標を持って過ごすことができれば、おのずとその可能性は開けていきます。まずは本日、中学校生活をスタートするに当たり、何か一つ目標を立ててください。きっと次の一步につながると思います。中学校ではその一步一步の積み重ねが大切なのです。

さて、最後になりましたが、新入生の保護者の皆様方には、この度のお子様のご入学、心よりお祝い申しあげます。本日ここに、かけがえのないお子様を確かにお預かりいたしました。私ども教職員一同、子どもたちの良さをさらに伸ばし育ていけるよう、誠心誠意努力する所存であります。

中学生の時期は、心も体も大きな成長を遂げますが、その一方で、精神的に大きく揺れる時期でもあります。様々な問題が起こるかも知れません。保護者の皆様や地域の皆様とともに、私ども教職員が心を開いて連携することが問題解決の大きな原動力になると考えています。今後とも本校の教育活動へのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

それでは、五七人の新入生の皆さん、これからの活躍と成長を大いに期待して式辞とさせていただきます。

平成三十年（二〇一八年）四月四日

大阪市立矢田中学校長 西川 祐功